

公益社団法人日本化学会は2018年12月4日(火)、化学会館(東京都千代田区)にて、国際周期表年(IYPT)2019に関する記者会見を行った。

我々の生活を支える環境において、様々な物質は元素からつくられている。この元素には周期性があり、現在まで118種の元素が周期表にまとめられている。元素の周期律を発見したのはロシアの科学者、メンデレーフであり、2019年には150周年を迎えるため、国連総会とUNESCOは2019年を元素の周期表150周年として、国際周期表年 International Year of the Periodic Table of Chemical Elements: IYPTと宣言した。

世界の国際組織や国々では様々な記念行事を予定しており、日本では、日本化学会が主導し、産学連携、オールジャパン体制を基に、周期表を活用したイベントを設け、元素の役割と人類、自然に対する理解を深めることを目的に活動を進める。

まず下記のイベントが主な活動となる。

- ・日本におけるIYPT2019では、中・高・大学生による「私たちの元素—エッセイコンテスト」を募集。
- ・「私たちの元素—産学からのメッセージ」では、日本化学会ウェブサイト(<https://iypt.jp/about/top.html>)に掲載されている周期表の元素それぞれに、大学、研究機関、産業界からのメッセージを掲載。
- ・UNESCOは2019年1月29日にパリUNESCO本拠地にてUNESCO共催公式行事として開会式、2019年12月には日本にてUNESCO承認のIUPAC公式行事として閉会式を行う。IYPT記念事業検討分科会、日本学術会議IUPAC分科会と連携で支援。
- ・周期表に関連したイベントの企画提案を広く募り、活動を支援。

特に、私たちの元素—エッセイコンテストでは、中・高・大学性対象に3人1チームにて、118の元素の中か



写真左から

- 山内 薫氏 (国際周期表年実行委員会監事)
- 酒井 健氏 (国際周期表年記念事業検討分科会委員長)
- 永江知文氏 (日本物理学会福会長)
- 玉尾皓平氏 (国際周期表年実行委員会委員長)
- 川合真紀氏 (日本化学会会長)
- 財満鎮明氏 (応用物理学会会長)
- 石切山一彦氏 (国際周期表年実行委員会副委員長)

ら1つの元素を選んで、その元素についてのエッセイ(作文)を募集。応募は2回に分けて募集。

応募開始の第1回目2019年月上旬、締切は2019年3月28日。第2回目は2019年6月上旬、締切は2019年9月10日(第2回目)となる。

厳正な審査を経た後、各元素について優れたエッセイを表彰し、本ウェブサイトにて紹介。

2019年2月23日には国際周期表年記念式典として、国際学術会議講堂(東京・乃木坂)にて、「周期表が拓く化学と技術 国際周期表年を迎えて」と題したシンポジウムが行われる。(<http://www.iypt2019.jp/custom.html>)

詳細については日本化学会ウェブサイト順次掲載。(<https://www.chemistry.or.jp>)